

倉敷市中心市街地活性化ラボ

ラボの課題

移転が決まっている市立中央図書館・自然史博物館の跡地の利活用策を提案する。

連携先

倉敷市役所（建設局まちづくり部まちづくり推進課）

活動の主旨：データサイエンス、観光・交通まちづくりのアプローチを用いて、テーマへのアプローチを試みる。

春学期の取り組み：

- ・倉敷市美観地区周辺の現地見学や公的データに基づき、美観地区やその周辺の現状・特徴や期待される将来像を把握した。
- ・地域活性化のあり方を理解するとともに他地域の跡地利用の事例（成功/不成功）をある程度集めた。
- ・倉敷市を含めた岡山県のデータの収集・分析・読み取りの演習を行い、ポスター作成、中間発表を実施した。

現地見学・調査の実施風景



倉敷市を含めた県全体の関連のデータの収集・分析・読み取り&ポスター作成（一部成果）



今後の活動

- ・倉敷市中心市街地の現地調査・アンケート調査
- ・観光・交通まちづくりの事例分析
- ・調査レポートの作成・発表
- ・倉敷市立中央図書館・自然史博物館の跡地利活用への提案

担当教員：森裕一・魏蜀楠

堀井創太、高橋純弥、近藤愛翔、角田佳斗、謝芸禎、犬伏輝、西田基佐、白石涉桜、小西翔太、松永基希、寺崎虎太郎、張家輝、竹之内遙人、杉岡伸二郎、吉田悠馬、廣林千恵